

2 非歯原性悪性腫瘍

1 扁平上皮癌 squamous cell carcinoma

a 口腔癌 carcinoma of oral cavity

1. TNM 分類

口腔粘膜に発生する上皮性悪性腫瘍を口腔癌という。小唾液腺の腺上皮由来の唾液腺癌も含まれるが、そのほとんど(90%)が口腔粘膜上皮由来の扁平上皮癌である。口腔に隣接する口唇、咽頭(上咽頭、中咽頭、下咽頭)、喉頭、上顎洞、鼻腔および副鼻腔、大唾液腺、甲状腺の領域に発生する癌腫とともに頭頸部癌に分類される。WHO による口腔の解剖学的部位は、頬粘膜部、上歯槽と歯肉、下歯槽と歯肉、硬口蓋、舌(前方2/3)、口底の6つに分けられている(図6-43)。原発部位別発生頻度では、舌が最も多く(約40%)、次いで下顎歯肉(約25%)、上顎歯肉、口底、頬粘膜がそれぞれ10%程度で、硬口蓋が最も少ない。

腫瘍の進展度分類として、UICC の TNM 分類が定められている(表6-6)。

T：原発腫瘍の大きさと拡がり、浸潤の深さ。

N：所属リンパ節(頸部リンパ節)の転移の有無と拡がり。

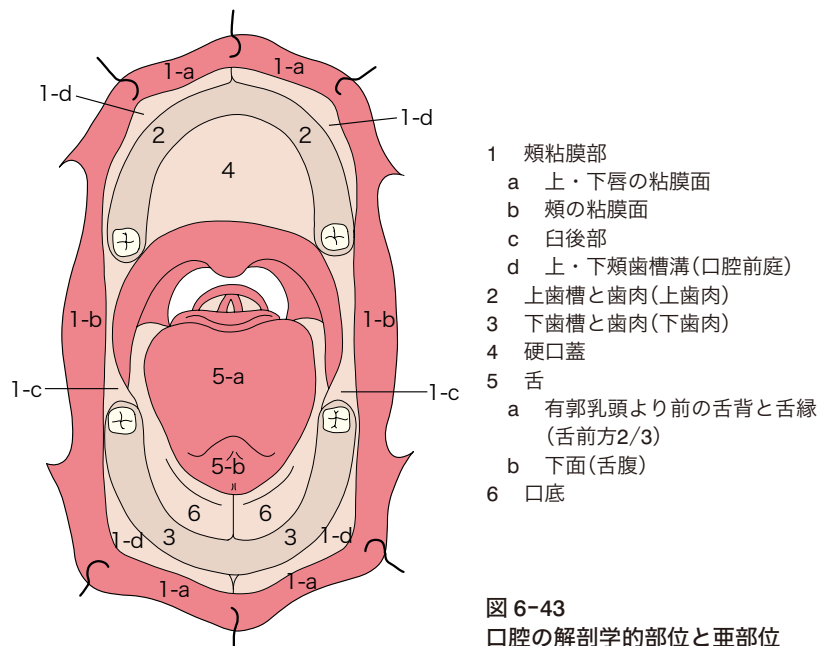


図6-43 口腔の解剖学的部位と亜部位

表6-6 TNM 分類(口唇および口腔, 2017)

T 原発腫瘍 (口腔、口唇) Primary Tumor	T0 : 原発腫瘍を認めない Tis : 上皮内癌 〈腫瘍径〉 〈浸潤の深さ: DOI〉 T1 : T ≤ 2 cm and DOI ≤ 5 mm T2 : T ≤ 2 cm and 5 < DOI : 2 < T ≤ 4 cm and DOI ≤ 10 mm T3 : 2 < T ≤ 4 cm and 10 < DOI 4 < T and DOI ≤ 10 mm T4a : 4 < T and 10 < DOI または(口唇)下顎皮質骨を貫通する腫瘍, 下歯槽神経, 口腔底, 皮膚(オトガイ部 または外鼻)に浸潤する腫瘍 (口腔)下顎もしくは上顎洞の皮質骨を貫通する腫瘍, または顔面皮膚に浸 潤する腫瘍 T4b : (口腔・口唇)咀嚼筋間隙, 翼状突起, 頭蓋底に浸潤する腫瘍, または内頸動脈 を全周性に取り囲む腫瘍
	N 所属リンパ節 (頸部リンパ節) Regional Lymphnode
M 遠隔転移 Distant Metastasis	M0 : 遠隔転移なし M1 : 遠隔転移あり

原発巣の 大きさ	リンパ節 転移	遠隔転移				
		NO	N1	N2	N3	Nに関係 なく
T1	M0	I	II	III	IVA	IVC
T2						
T3						
T4a			IVB			
T4b						
Tに関係なく		M1	IVC			

図6-44 TNM 分類と病期分類(2017)

M：遠隔転移の有無。

TNM 分類は、腫瘍の進展度の正確かつ客観的な把握、治療計画作成の参考、予後の予測、治療結果の評価、各施設間の情報交換をより簡素化して容易にし、ヒト癌の継続的研究に寄与することを目的としている。また、TNM 分類に基づいて病期分類(stage I～IV)を行い(図6-44)、腫瘍の進展度を評価する。